

## 2010年度 荒川流域一斉水質調査企画書

NPO 法人 熊谷の環境を考える連絡協議会

この調査は13年前に私たちの身近にある荒川の流れと周辺が大変汚れている事に多くの人が気付き、この汚れはどこから、どのくらい汚れているのか調べてみよう、そして以前の荒川に戻すには何をしたら良いかとNPO 熊谷の環境を考える連絡協議会が立ち上がりました。きっかけは私たち環境関係の県内50余団体が加盟するNPO 荒川流域ネットワークが荒川の本流と支川を含めると、その面積は埼玉県の約3分の2になる荒川流域の水質調査をしていた。その中に熊環連も合流して調査地点を増やし精度の高い調査に協力しようとなり、それ以来13年間、熊谷市内の荒川流域定点の水質調査を実施している。

NPO 荒川流域ネットワークは昨年度より調査の目標を最近の環境対策の強化に伴い水質が改善されている事に鑑み「水質がきれいになっている所はどんな所かを確認し更に保全する努力を継続する事」と「全国水環境マップ実行委員会が提唱する全国水環境マップづくり」にも加わる事になっている。

本年度より調査項目を全国版に合わせて昨年度まで調査項目であった4種セットパックテストの内PH・アンモニア態窒素・亜硝酸態窒素を外し全国版のCODと電気伝導度の測定のみに切り替えた。この事により調査結果に対し特に大きな影響は無い事が専門家からの助言も得ている。

毎年、熊谷市役所の環境対策課から人員、器具類、車両等の応援を頂き社会教育課からは毎年の行事わくわくサイエンスの中のプログラムとして参加。立正大学からは調査器具と共に学生の応援等幅広いグループの参加により実施されている。

この事は他の水質調査加盟団体にない熊谷の誇り得る項目です。

### 調査要領

- 1、毎年一回 6月第1日曜日の午前10時に荒川流域定点の一斉調査  
(1団体が複数の地点をする場合は移動のため10時以降となる)
- 2、調べる種類 河川名。調査地点。時刻。水温。におい。にごり。  
COD・科学的酸素要求量とEC・電気伝導度。  
(CODは正確を期する為、同地点で3回の計測)
- 3、集合時間 午前9時00分  
集合場所 市役所玄関前  
人員確認 本流班。星川班。元荒川班。大里用水班。和田吉野川班。利根川班  
終了時間 12時前頃になります
- 4、参加者 熊谷の環境を考える連絡協議会 市役所・環境対策課・社会教育課とボランティア  
及び小学生・保護者同伴 立正大学地球環境科学部 エコネットくまがや
- 5、調査主導団体=NPO 法人荒川流域ネットワーク / 試薬・器具の提供あり
- 6、熊谷地区調査参加団体=熊谷の環境を考える連絡協議会

以上